

太平洋新国土軸構想推進協議会 P R 誌



虹の向こうに

(第 1 9 号)

---

## お知らせ

今号から P D F 版での発行となりました。引き続きのご愛読をお願い申し上げます。

---

## 目次

1. 太平洋新国土軸構想推進協議会の活動状況（平成 2 0 年度）（P 2）
  2. 平成 2 0 年度研究会の概要について（P 3）
  3. 「国土形成計画」の全国計画の閣議決定について（P 4）
-

## 太平洋新国土軸構想推進協議会の活動状況（平成20年度）

当協議会の平成20年度の活動状況は以下のとおりです。

### 1 会議の開催

- |          |     |       |        |       |
|----------|-----|-------|--------|-------|
| (1) 総会   | 議決  | 平成20年 | 5月30日  | (書面)  |
| (2) 幹事会  | 第1回 | 平成20年 | 4月9日   | (大阪市) |
|          | 第2回 | 平成20年 | 11月14日 | (大阪市) |
| (3) 世話人会 | 第1回 | 平成20年 | 4月9日   | (大阪市) |

### 2 要望活動

次のとおり要望活動を実施した。

日時：平成20年6月23日

要望先：国土交通省、関係国会議員

### 3 広報活動

パンフレットの内容の更新等を行った。

### 4 研究活動

次のとおり国土交通省担当官を講師に招き、講演会を実施した。

日時：平成20年11月14日

場所：大阪市淀川区メルパルク大阪

演題：「国土形成計画について」

講師：国土交通省国土計画局総合計画課  
専門調査官 五十川 泰史 氏

### 5 機関誌（PR誌）の発行

「虹の向こうに」第19号を発行した。



## 平成20年度研究会の概要について

平成20年度の研究会は、国土形成計画法に基づき、今後概ね10ヶ年間ににおける国土づくりの方向性を示す計画として、国土形成計画（全国計画）が7月4日に閣議決定されたことから、担当課である国土交通省国土計画局総合計画課の専門調査官である五十川泰史氏をお招きし、「国土形成計画」と題して講演を頂くとともに、協議会メンバーとの意見交換を行いました。

講師からは、これまでの全国総合開発計画（全総）から今般の国土形成計画の策定までの経緯や、「国と地方の協働によるビジョンづくり」・「開発中心からの転換」などをキーワードとする「国土計画制度の改革のポイント」、「全国計画」と「広域地方計画」から成る新たな国土形成計画の枠組みなどについて紹介がありました。また、「多様な広域ブロックが自立的に発展する国土を構築するとともに、美しく、暮らしやすい国土の形成を図る」ための戦略的目標として、「東アジアとの円滑な交流・連携」、「持続可能な地域の形成」、「災害に強いしなやかな国土の形成」、「美しい国土の管理と継承」と、これら4つの戦略的目標を推進するための横断的視点としての「『新たな公』を基軸とする地域づくり」について、具体的な事例なども交えながら説明がありました。さらに、当協議会との関連が深い「交通体系に関する基本的な施策」（第2部第4章）に関連し、最新の統計データや国際比較データの紹介を頂きました。



## 国土形成計画の全国計画の閣議決定について

国土形成計画法に基づき、今後概ね10ヶ年間に於ける国土づくりの方向性を示す計画として、去る平成20年7月4日に、国土形成計画の全国計画が閣議決定されました。本計画は、新しい国土像として、多様な広域ブロックが自立的に発展する国土を構築するとともに、美しく、暮らしやすい国土の形成を図ることとし、その実現のための戦略的目標、各分野別施策の基本的方向等を定めるものです。

今後、各広域ブロックでは、国、地方公共団体、経済団体等で組織される広域地方計画協議会において、本計画を基本とした広域地方計画の策定へ向けて本格的な議論が行われることとなります。

なお、太平洋新国土軸関連の主な記述は以下のとおりです。

閣議決定の全文は国土交通省ホームページ

([http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/kokudokeikaku\\_fr3\\_000003.html](http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/kokudokeikaku_fr3_000003.html))にも掲載されていますので、是非ご参照下さい。

### ○国土形成計画（全国計画）（平成20年7月4日閣議決定）（抜粋）

#### 第1部 計画の基本的考え方

##### 第2章 新時代の国土構造の構築

##### 第1節 新しい国土像

広域ブロック相互間や各ブロックと東アジア諸地域との交流・連携に当たっては、経済活動の結びつきや集積の状況を踏まえた連なり方のみならず、気候や風土等の特性などにも着目していく必要がある。このようなブロック間の連続的な連なりを、「21世紀の国土のグランドデザイン」において、国土を縦断方向に覆う気候や風土等の特性、さらには交流の歴史的蓄積やアジア・太平洋地域に占める地理的特性等を共有する大括りの圏域を21世紀を通じて明らかにしていくとされた、北東・日本海・太平洋新・西日本の4つの国土軸の構想とも重ねていくこととする。

## 第2部 分野別施策の基本的方向

### 第4章 交通・情報通信体系に関する基本的な施策

#### 第2節 地域間の交流・連携を促進する国土幹線交通体系の構築

##### (1) 総合的な陸上交通網の形成

第四次全国総合開発計画や21世紀の国土のグランドデザインにおいては、国土を縦貫あるいは横断し、全国の主要都市間を連結するものとして14,000kmの高規格幹線道路網が構想された。

地域相互の交流促進等の役割を担う地域高規格道路と一体となった規格の高い自動車交通網は、地域の自主性の下に進められる広域ブロックの自立的な発展に向け、大都市圏及び拠点性の高い都市を結ぶ高速鉄道網とともに、基幹的な高速陸上交通網の役割を果たすことが期待される。

具体的には、道路に関するこれまでの改革に沿って、最新の需要推計などを踏まえ、真に必要な道路整備は計画的に進めることとし、今後の具体的な道路整備の姿を示す中期的な計画に即して、高規格幹線道路をはじめとした基幹ネットワークのうち、県庁所在地など主要都市間を連絡する規格の高い道路、大都市の環状道路、拠点的な空港・港湾へのアクセス道路や国際競争力の確保のための道路などに重点をおいてコスト縮減を図りつつ効率的な整備を推進する。湾口部、海峡部等を連絡するプロジェクトについては、長期的視点から取り組む。



ゆめのせて  
未来へ架ける  
海の道

PRホームページ  
「ほほえみの道しるべ」  
<http://t-kokudojiku.jp/>

太平洋新国土軸の実現に向けて、私たちは一体となって取り組みます。

#### 太平洋新国土軸構想推進協議会

静岡県、愛知県、三重県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、香川県、  
愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県  
(社) 中部経済連合会、(社) 関西経済連合会、四国経済連合会、(社) 九州経済連合会、  
東海商工会議所連合会、近畿商工会議所連合会、四国商工会議所連合会、  
九州商工会議所連合会

#### 太平洋新国土軸構想推進協議会事務局

大分県企画振興部総合交通対策課  
〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号  
TEL:097-506-2153 FAX:097-506-1731